

# 令和7年度の主な施策について

加賀市健康福祉審議会

# 1 「地域見守り支えあいネットワーク」の充実と促進

## 地域見守り支え合いネットワークについて

平常時の見守りや災害時に支援が必要な要支援者を、あらかじめ「避難行動要支援者名簿」に登録し、民生委員や区長をはじめとする地域の支援者が情報共有することで見守りの体制を構築するもので、名簿登録にあたり、民生委員児童委員等の日々の活動の中で登録勧奨を行うなど、要支援者の登録を進めている。

毎年300名程度が新たに登録されているが、死亡や長期の施設入所等により登録削除となる対象者も多い状況にある。

	令和6年度（計画目標）	令和6年度（実績） （R7.1月末）	達成率
名簿登録者数	2,800 人	2,462 人	88.0 %

R7.3.5 令和6年度第4回健康福祉審議会資料

# 1 「地域見守り支えあいネットワーク」の充実と促進

## 「安心カード」

地域見守り支えあい制度に登録された方へ配布している「安心カード」には、避難行動要支援者名簿の情報のほか、緊急連絡先や健康状況などが記載され、見守り活動や災害時にも活用されます。

令和3年に災害対策基本法が一部改正され、避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図る観点から、個別避難計画の作成を努力義務化

→加賀市においては「安心カード」を個別避難計画として位置付けていたが、新たに個別避難計画の様式を定め、令和7年度より作成着手予定。

加賀市地域見守り支えあいネットワーク **重要**

### 安心カード

救急・火事は **119** 番  
警察は **110** 番  
大聖寺警察署 ☎72-0110

わたしが避難する場所：初めは \_\_\_\_\_、次は \_\_\_\_\_ です。

緊急時の連絡先		作成日	年	月	日
（ふりがな） 世帯主名	自宅の 電話	( )	-		
住 所	加賀市	自宅まで の目標物			
（ふりがな） 氏 名	職 務	電 話	( )	-	
家 族 等 連 絡 先	氏 名	職 務	電 話	( )	-
	氏 名	職 務	電 話	( )	-
民生委員	氏 名	職 務	電 話	( )	-
担当ケア マネジャー	氏 名	事業所名	電 話	( )	-
そ の 他	氏 名	事業所名	電 話	( )	-
	氏 名	事業所名	電 話	( )	-

発行：加賀市役所健康福祉課 TEL.0761-72-7854 加賀市社会福祉協議会 加賀市民生委員児童委員協議会 TEL.0761-72-1100

# 1 「地域見守り支えあいネットワーク」の充実と促進

## 【令和7年度個別避難計画作成の流れ】

### 【令和7年度第1回地域見守り支えあい推進会】

▶令和7年8月頃予定

#### ○協議事項

- ・加賀市地域見守り支えあいネットワークの現状について
- ・加賀市安心メール事業について
- ・消費者安全確保地域協議会について
- ・個別避難計画の内容改訂・実施方法の検討

①記載内容の整理

②対象者要件の検討

③モデル地区の選定

ハザードマップや要支援者本人の心身の状況から優先度の高い対象者から作成

構成団体	
加賀市区長会連合会長	加賀市介護サービス事業者協議会
社会福祉法人 加賀市社会福祉協議会	加賀市じりつ支援協議会
加賀市民生委員児童委員協議会長	加賀市身体障害者福祉協会
加賀市医師会	加賀市防災士会
大聖寺警察署	加賀市防災リーダー会

### 【個別避難計画の必要性の周知】 勉強会の開催 ▶令和7年10月予定

○当事者、福祉専門職、自治会、自主防災組織、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等を対象に実施予定

### 【モデル地区にて計画作成開始】

○当事者自身や地域、支援者と共に計画を作成していく

○民生委員・児童委員、自治会等で各地区で開催している「見守り座談会」にて支援の共有を図る

### 【令和7年度第2回地域見守り支えあい推進会】

#### ○協議事項

- ・個別避難計画の検証・課題整理

若者の生活や健康に向き合うために必要な知識・技術の習得や働き方、子育ての支援を進めることで、それぞれに合った将来のライフデザインを考えられる魅力ある地域とする。また、市内外への積極的なプロモーションや移住・定住策を強化することで、社会意識の醸成を高め、加賀市で就職・結婚・出産等の様々なライフデザインが描けるような環境の構築を目指す。

## 現状

人口減少：△934人（R5年中）

婚姻件数：178件（R4年中）

出生数：285人（R5年中）

出生率：1.35（R4年度）

移住者数：15組27人（R4年度中）

- ・消滅可能性自治体に指摘
- ・推計人口6万人を下回る  
(昭和22年国勢調査人口を下回る)

## 市民アンケートの結果

(R5.12実施, 複数回答可)

### 働くときがあるとよいサポート

「休みがとりやすい」80%

「勤務形態・時間が選べる」70%

### 移住に必要なもの

「仕事」82%

「公共交通機関」54%

「子育て環境」44%

## 対策

### プレコン分野

#### ①プレコンセプションケアの推進

- ・若年世代が将来のライフデザイン（人生設計）に資する視点を持ち、男女を問わず自分の身体に関心を持ち、将来、希望する方が、安心安全で健やかな妊娠出産に備えた健康管理に取り組むプレコンセプションケアを普及啓発する。

### 労働分野

#### ②正規雇用・就労環境の改善

- ・子育てがしやすいように、短時間労働等の多様な働き方ができる正規雇用を促進する。
- ・市をはじめ、地元の企業を巻き込み進めていく必要がある。

### 子育て分野

#### ③子育て世代の支援

- ・子育てが楽しいと思えるような機運の醸成をもたらす。
- ・子どもと大人と一緒に参加できる環境を整えることで、子育て世帯が加賀市の魅力を感じることができる。

## 取組例

### 若者世代向け魅力アップセミナー

- ・投資と保険
- ・自分磨き
- ・プレコンと検診 等

### 企業向けアプローチ・セミナー

- ・働き方（短時間就労）
- ・育児休暇・休業手当
- ・福利厚生の実現 等

### 子育て楽しいプロジェクト

- ・高齢者の積極的参加
- ・子ども参加型イベント
- ・遊び場 等

効果的な施策の検討  
実施に向けた協議

## 加賀市ライフデザイン推進機構

事務局（加賀市）

### 【構成員】

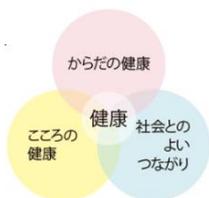
有識者、分野からの代表、若者（受益者）代表 ほか

### 市の施策とも連携

- ・市内外へのプロモーション
- ・移住・定住対策
- ・住宅環境の整備
- ・若者支援
- ・教育支援
- ・交通対策 等

## プレコン分野

各団体において、プレコンセプションケアの推進に向けた取り組みを実施



- ・企業の新規採用者向けに作成した動画を通して情報提供。
- ・婚活について、ニーズ調査の実施。
- ・地域でのつながりを強化。
- ・これらの取組を動画やSNSで発信。

## 労働分野

各団体において、正規雇用・就労環境の改善に向けた取り組みを実施



- ・経営者への周知による気づき  
経営者が問題意識、当事者意識を持ってもらうため、経営者層に対する講演会の開催やアンケート等を実施する。
- ・労働環境・福利厚生に関する事例の共有  
子どもを産み育てたいと思える環境の構築に向けて、市内企業の取組を調査し、先進的な取組事例の共有とアンケートを実施するとともに、広報かがを活用した周知を行う。
- ・プレコン分野会との取組連携  
プレコンセミナーや婚活等の取組について、プレコン分野会と連携する。

## 子育て分野

各団体において、子育て世代の支援に向けた取り組みを実施



- ・親子交流の促進  
親子で参加できる地域イベントを通じて、親子が交流することで、愛着がわき住みやすい市になる。
- ・各団体によるSNS発信  
加賀市の魅力を各団体がそれぞれの視点でSNS発信し、各団体が互いの投稿に「いいね！」やコメントをし、連携を強化する。
- ・子どもに優しい店づくり応援  
市内の飲食店に対し、子ども連れでも安心して利用できるような環境づくりを応援する。

## 共通

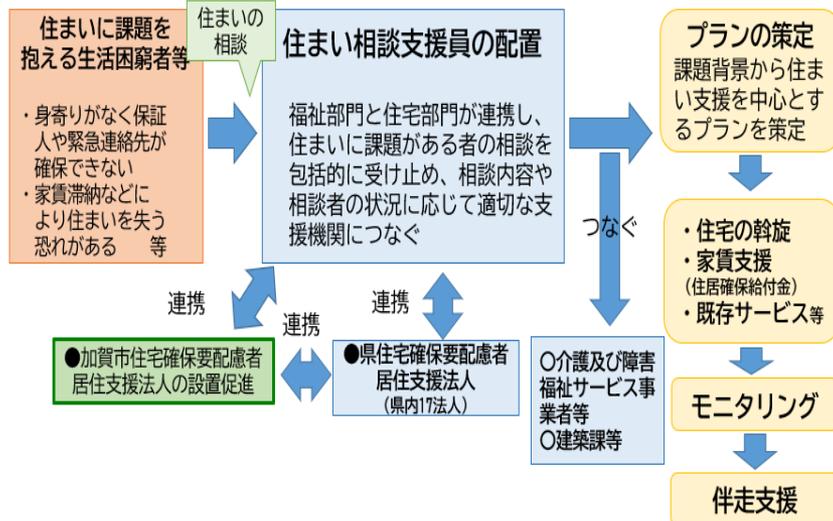
- ・プレコンセプションケアに関する講話やセミナー、婚活等の実施
- ・市で行う企業向けの健康実態調査と共同で労働環境のアンケートを実施・活用

主な分野	団 体	視 点
プレコン分野	加賀市各種団体女性連絡協議会	女性団体として取組
プレコン分野	NPO法人 かもママ	子育て団体としての取り組み
プレコン分野	加賀青年会議所	若者経営者としての取組
プレコン分野	加賀市区長会連合会	住民視点でのご意見
労働分野	加賀商工会議所（会長）	市内企業参画の取りまとめ
労働分野	加賀市女性協議会	女性団体として取組
労働分野	山中商工会	市内企業参画の取りまとめ
労働分野	連合石川 かが地域協議会	働き方改善・就労環境改善
労働分野	加賀市内福祉施設長会	働き方改善・就労環境改善
子育て分野	加賀市育児サークル連絡協議会ぴよぴよ・かが （副会長）	子育ての取り組み
子育て分野	加賀市青年団協議会（副会長）	若者・子育て世代でのご意見
子育て分野	みらい子育てネット加賀市地域活動連絡協議会	子育ての取り組み
子育て分野	加賀商工会議所 青年部	市内企業参画の取りまとめ
子育て分野	石川県宅地建物取引業協会	不動産業界としてのご意見
子育て分野	加賀市まちづくり推進協議会	地域視点でのご意見
顧問	山崎 史郎（内閣官房 参与）	
顧問	上棚 直人（加賀市医師会 会長）	
アドバイザー	齊藤 英和（梅ヶ丘産婦人科 ARTセンター長）	
アドバイザー	赤澤 純代（金沢医科大学 女性総合医療センター長）	
アドバイザー	吉田 みち代（日本助産師会 理事）	

# 1 住まい相談支援事業

住まいに課題を抱える生活困窮者等に対し、総合的な相談支援から、見守り支援・地域とのつながり促進などの居住支援までを一貫して行う「住まいに関する支援システムの構築」に向けて、住まい相談支援員を配置し、必要な機関との連携や個別の相談に対して伴走支援を行います。

## <事業イメージ>



## 加賀市では住まい相談支援員を配置しています



○このような住まいに関する相談を受けています。

○相談者の課題背景から、住まい支援を中心とするプランを作成します。

○プランに沿って適切な支援機関につながります。

問い合わせ先

加賀市役所相談支援課

☎ 0761-72-1370

担当：今井・中島

## 2 ひきこもり相談窓口の設置

地域の身近な「ひきこもり相談窓口」として、昨年に1か所、本年4月に新たに2か所設置し、市内3か所に拡充いたしました。

相談の受け付け及び伴走支援を行い、関係機関と連携をとりながら支援を実施いたします。

また、ひきこもり支援や取組を進めるため、医療、教育、労働、福祉のそれぞれの分野で構成する「ひきこもり支援体制検討会」に、今後、不登校児童生徒への支援を行っている「認定特定非営利活動法人カタリバ」も加わり、不登校対策とも連携して、切れ目のない支援体制を構築します。



令和7年5月発行

# ひきこもり 相談窓口

ひきこもりは特別なことではなく、誰にでも起こりうることです。  
ひとりで抱え込まないで相談してみませんか。  
加賀市ではひきこもりに関する相談窓口を設置しています。

**ご本人へ**  
ひきこもりの方の多くが焦りや不安を抱えています。  
自分で答えが見つからないときは、まずご相談ください。  
一歩踏み出すあなたと一緒に考えます。

**ご家族へ**  
誰かに話をすることで気持ちが変わることがあります。  
本人と一緒に支えていきましょう。  
ご家族もぜひご相談ください。

お住いの圏域	相談窓口設置場所(委託先)	住所	電話	メール
大聖寺・橋立	ひきこもり・ソーシャルブリッジ・プロダクション(HSP) (一般社団法人 いまこ親の会)	大聖寺南町子 35-7	070- 5633-2667	dekunobodo @yahoo.co.jp
片山津・作見・動橋	小規模多機能ホームきんめい (社会福祉法人 共友会)	野田町夕8番地1	090- 2376-2224	thirdplace.kinmei @gmail.com
山代・山中	いこいの家 (医療法人社団 長久会)	山代温泉11の 108番地2	0761- 77-3515	ikoinoie.chokyu @gmail.com
全圏域	加賀市役所 相談支援課	大聖寺南町二 41番地	0761- 72-1370	soudanshienka @city.kaga.lg.jp

お住いの地域	石川県の相談窓口	住所	電話	メール
加賀市、小松市、 能美市、川北町	加賀ひきこもり地域支援 センター	幸町二丁目 60番地	0761- 76-5750	kagacenter@ chokyuhukushi.jp
加賀市、小松市、 能美市、川北町	南加賀保健福祉センター	小松市園町又 48	0761- 22-0796	

まずはご連絡ください